



LIXIL

ラシッサ 調整ねじ

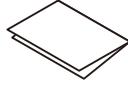
取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付け上のお願ひ

- 調整ねじは、枠にあいている取付け用の下穴を避け、新しい場所に下穴なしで使用してください。下穴部に使用すると、枠が持ち上がらずねじが空転するおそれがあります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 建具枠の下地材および、かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 本製品締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本部品調整時には、電動ドライバーを使用しないでください。
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。ただし、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因になります。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠は倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。

■部品セット明細

名称	調整ねじ	取付け説明書
姿図	 皿タップインねじ φ5.2×50	
入数	200本	1部

■縦枠の取付け

※縦枠取付け以外の取付け手順は各商品ごとの取説を参照ください。

- ① 調整ねじで縦枠を開口部にA図のとおり5ヵ所取付けてください。
※縦枠にあらかじめあいている下穴を避けて取付けてください。下穴部に使用すると、枠が持ちあがらずねじが空転するおそれがあります。
※必ず、5ヵ所に取付けてください。取付け本数が少ないと枠の垂下がり、ゆがみなどの原因となります。
- ② 取付けた調整ねじを逆回転させると枠が持ちあがるので、枠が垂直になるように調整します。
※調整時には、電動ドライバーを使用しないでください。
※持ちあがった状態で、枠を押込まないでください。締直しの際ねじが空転するおそれがあります。
- ③ 柱と縦枠のすき間にかい木(現場手配)をはさんで、再び調整ねじを締めて枠を固定します。

■A図 (取付け詳細図)

